

千葉市花島公園観察会

花島公園でバードウォッチング

小川洋子（八千代市）

日時：2023年2月12日（日）10:00～12:00 天候：晴れ

参加者：23名（大人19名 子ども4名）

担当指導員：木下、山口、小川、伊藤、坂本、千葉市1名、指定管理者2名

立春から1週間、観察会当日は春らしい暖かいお天気にも恵まれた。花島公園センター前に集合した参加者は鳥に関心があり双眼鏡をお持ちの方が多かったが、お持ちでない方も。そういう方には市の双眼鏡をお貸しして使い方を説明、諸注意の後出発した。センター前の芝生広場で早くもツグミを発見、ツグミは小鳥の中では比較的大きく芝生をテクテクピョンピョンと歩いては止まる動作を繰り返すので見つけやすい。指導員の用意した望遠鏡で見る者、双眼鏡で見る者、どちらもしっかりツグミを見られた。また木々の間を鳴きながら飛ぶヒヨドリの姿も見られ幸先の良いスタートが切れた。

芝生広場の台地から階段を下り溪流の落ち口で鳥を待った。シジュウカラやアオジ、メジロがやってきた。林の中の落ち葉の上でゴソゴソしているのはキジバトだ。溪流伝いに噴水池から谷津池中島池へと下る。途中セグロセキレイやハクセキレイが見られた。池にカモが3種類いるけどわかるかなと指導員。一番近くいるのはコガモたち、地味なのはメスで色鮮やかなのはオスだ。その先にはカルガモたち、1年中みられるお馴染みさんだ。あと1種はどこ？いました、茶色い頭に白い胸、尾羽をぴんと立てたオナガガモのオスが1羽。参加者から「1羽で寂しそう」という声。何故1羽、群れから外れてしまったのか、言葉が通じれば聞いてみたいところだ。中島池でコサギは見られたが、期待されたカワセミは現れず残念感が漂う。

お花見広場に下り上空を見上げればオオタカやノスリ、トビ、カワウが飛び、花見川にはオオバンやカイツブリが見られた。鳥の研究者になりたいという小1少女がオオバンの足は弁足だと説明してくれた。将来が楽しみなこの子は毎週のようにご両親とバードウォッチングに出かけているとか。お花見広場で満開のマンサクを見て中島池に戻りカワセミに再チャレンジ。いました！カワセミは止まる枝をかえながらもしばらくいてくれたので全員が見ることができた。やはりカワセミを見るとうれしくなるもの、案内人としてはホッとした気分になった。

谷津池でコサギを見ながら鳥合わせ。見られた鳥は、カルガモ、オナガガモ、コガモ、カイツブリ、キジバト、カワウ、コサギ、オオバン、トビ、オオタカ、ノスリ、カワセミ、ハシボソガラス、ハシブトガラス、シジュウカラ、ヒヨドリ、ウグイス、メジロ、ムクドリ、ツグミ、ハクセキレイ、セグロセキレイ、アオジなど23種。観察にちょうど良いお天気で参加者にも楽しんでいただけたようだ。



オナガガモとカルガモ



花見川どこに鳥がいるかな